



# 学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～



平成 30 年 7 月 20 日 発行 No. 15 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記

## 一学期の成長 ～72日間のご支援とご協力に感謝いたします～

子ども達は、毎日それぞれに目標を持って学習し、生活してきました。そして、先生方の頑張りと保護者・P T A・関係機関のみなさまのご支援・ご協力により、子ども達一人一人が確実に成長した一学期となりました。

**1 年生は**、学校生活の一日の流れがわかり、自分で行動できるようになりました。字が上手になり、給食の支度や着替えも早くなりました。

**2 年生は**、学級・学年のまとまりがとてよくなりました。運動会全体練習や学年で取組んだよさこい等での活動では、一人一人が真剣に、そして協力して取り組みました。

**3 年生は**、学級の目標や友達のことを考えて行動できるようになりました。よい言動をした人を素直にほめ、それに近づこうと頑張れる子どもに育っています。

**4 年生は**、上学年の自覚を持って委員会活動や学級の仕事に、責任を持って取り組みました。学習では、特に、自主学習に工夫して取り組むようになりました。

**5 年生は**、授業への集中力が格段に高まりました。あいさつや履きもの揃えは、6 年生を手本に取り組み、今では、下級生の手本となっています。

**6 年生は**、塩川小のリーダーとして、「名前を付けてあいさつ」を率先垂範しました。下級生にも優しく接し、全てにお手本となりました。自分だけでなく、学校も高めた 6 年生でした。

**なかよし学級は**、話をきちんと聞き、学習に真剣に取り組みました。**かがやき学級は**、勉強がさらに好きになり、集中力が増しました。それぞれに、学習・生活両面に成長が見られました。



「大くん、おはようございます。」と、名前を付けてあいさつすると、心が通じ合います。

少年の主張で、「僕たちが考えたさわやかあいさつ」を発表します。



山口美空

3 年生は、毛筆で、こんなに上手に書けるようになりました。

4 年生の K くんは、「名前を付けてあいさつすると、相手があいさつを返してくれます。とてもさわやかな気持ちになります。このような気持ちは、三年生の時には、あまり感じたことがありませんでした。」と、新たな気づきをしています。

私は、「新しい行動を獲得する」ことや、「今までにない考え方ができる」ようになることは、人としての資質・能力、態度の面で、大きな成長だと考えます。そして、そのきっかけをつかむ気づきや出来事は、同じ価値を持つと考えます。

K くんは、この気づきをきっかけに、「名前を付けたさわやかあいさつ」を自発的に行うようになることでしょう。

## 先生方の研究と修養 ～さわやかで素敵な学級集団に高めるために～



①ヘルメットを全員がぶり、自転車をおしながら横断歩道を渡る集団を目にしました。見ると塩川小の子ども達でした。交通教室で学んだこと、先生や親から指導されたことを、しっかり実行している姿に感心させられました(下の左写真)。

②足をけがし、松葉杖で移動する下級生を見守る 6 年生です。「面倒見てあげてね。」とお願いした私の要望以上のお世話をしてくれた 6 年生でした(下の右写真)。

### ちょっといい話

会津大学上級准教授の対間澤先生を講師に、好ましい学級集団をどう創るかの研修を行いました。

先生方は、グループごとに学級の特徴を話し合って把握し、課題についての解決策は、経験を元にそれぞれが提案し、よりよい解決策を導き出しました。

同僚性の高さが、学校力をさらに高めています。



①ヘルメットを全員が被っていました。②6年生の役割を果たす